

不倒の油画道

FROM THE 151ST YEAR:
KANOKOGI TAKESHIRO RETROSPECTIVE
RETURN TO REALISM

生誕151年からの

カノコギタケシロウ

鹿子木孟郎

特別展

2026.1.17 sat. - 4.5 sun.

【前期】1月17日(土) - 2月23日(月・祝) 【後期】2月25日(水) - 4月5日(日)

【開館時間】11:00 - 18:00 ●金曜日は19:00時まで開館 ●入館は閉館の30分前まで

【休館日】月曜日、2月24日(火) ●2月23日(月・祝)は開館

【入館料】一般1,500円(1,300円)、学生800円(700円)、18歳以下無料

●学生・18歳以下のかたは証明書のご呈示が必要です。●20名様以上の団体は()の団体料金。

●障がい者手帳等ご呈示のかたはご本人および同伴者1名まで無料。●2回目ご来館時に本展半券ご呈示で1名様1回限り半額。

【主催】公益財団法人泉屋博古館、日本経済新聞社 【特別協力】府中市美術館

SEN-IOKU
HAKUKOKU
MOKAN
TOKYOU

泉屋
博古館
東京

《婦人像》(部分) 個人蔵

KANOKOGI
TAKESHIRO



左:《ノルマンディーの浜》1907年 泉屋博古館東京 右:《木の幹》個人蔵

KANOKO KOGI TAKESHIRO

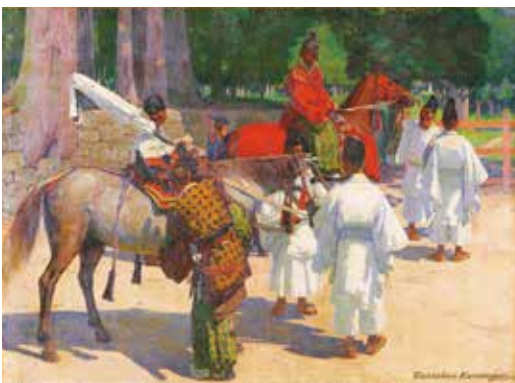
生誕151年からの
鹿子木孟郎

近代の日本洋画に本格的な「写実」表現をもたらした鹿子木孟郎(1874~1941)の生誕151年を契機として、その足跡をたどる特別展です。鹿子木は現在の岡山市に生まれ、はじめ天彩学舎や不同舎で洋画の基礎を学び、1900年に米国経由でフランスへ留学しました。1918年まで都合3度にわたって留学したパリではフランス・アカデミスムの巨匠ジャン＝ポール・ローランスからフランス古典派絵画の写実の薫陶を受け、ルネ・メナールに接して象徴主義の表現を学びました。帰国後は、関西美術院や太平洋画会、文部省美術展覧会の中心的な画家として活躍し、日本洋画の発展に確かな足跡を残しました。本展は、10代の初期作品からローランスに学んだ渡欧作、帰国後の文展や太平洋画会、関西美術院や家塾での活動を紹介しつつ、日本洋画における写実の展開と継承について検証します。

写実絵画を
もういちど



左上:ジャン＝ポール・ローランス
《マルソー将軍の遺体の前のオーストリアの参謀たち》
1877年 泉屋博古館東京
右上:《加茂の競馬》1913年 株式会社三井住友銀行蔵(泉屋博古館東京寄託)
右下:《大正12年9月1日》1924年 東京都現代美術館
左下:《ショールをまとう女》1906-07年 府中市美術館



公式オンラインチケットはこちらから
お得な前売り券(2025年12月3日~1月16日販売)、
スムーズに入場できる入館券(2026年1月17日~4月5日販売)など、
詳細はこちらのQRコードを読み取ってください。



ラーニング・プログラム

各プログラムの詳細、お申込みについては当館ウェブサイトをご覧ください。
※予約制のイベントは、1月7日(水)正午よりホームページにて受付開始予定
(先着順)。

1 記念講演会

3月7日(土) 14:00-15:30

講師: 荒屋鋪透氏(茨城県近代美術館長)

要予約・要観覧券

2 シンポジウム「鹿子木孟郎のレアリズム」

3月14日(土) 14:00-17:00

基調講演 志賀秀孝氏(クヴェレ美術館長)
パネリスト 山梨絵美子氏(千葉市美術館長)
野地耕一郎(泉屋博古館東京館長)
水野曉氏(画家)
モデレーター 椎野晃史(泉屋博古館東京主任学芸員)

要予約・要観覧券

3 〈アートwith〉レクチャー「アートアーカイブの現在: AIと3Dが再定義する“記録”」

1月30日(金) 17:30-18:30

講師: 辻 勇樹氏(ACTUAL Inc. CEO)

参加費: 500円

要予約・要観覧券・
要参加費

4 スライドトーク

※当日11時より整理券配布(定員になり次第、締め切らせていただきます)

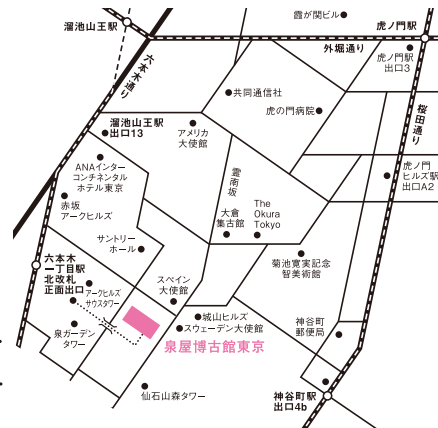
① 2月7日(土) 椎野晃史(泉屋博古館東京主任学芸員)

② 2月14日(土)、3月28日(土)

野地耕一郎(泉屋博古館東京館長)

各14:00-15:00

予約不要



アクセス案内

- 東京メトロ・南北線
「六本木一丁目」駅下車
北改札正面出口より
屋外エスカレーターで3分
- 日比谷線「神谷町」駅下車・
4b出口より徒歩10分
- 銀座線「溜池山王」駅下車・
13番出口より徒歩10分

泉屋博古館東京

〒106-0032 東京都港区六本木1-5-1
TEL 050-5541-8600 (ハローダイヤル)
<https://sen-oku.or.jp/tokyo/>

休館日・開館時間および展示内容を変更する場合がございます。
当館のホームページ、SNS等で最新の情報をご確認ください。

@SenOkuHakukoKanTokyo X @SenOkuTokyo @senokuhakukokanmuseum_tokyo